

学校教育目標

確かな未来をめざし、認め合い、高め合う子の育成

思いや夢の実現に向けて、友だちとともに考え、
課題を発見し、自ら進んで表現する力

目指す子ども像

すすんで 学ぶ子

- ・学習した「知識」を「知恵」にかえる力
- ・めあてにむかって自ら進んで取り組み解決する。
- ・読書から豊かな想像性を育む。

礼儀正しく優しい子

- ・人と人とのつながりを大切にする。
- ・互いの違いを認めることができる。
- ・人をおもいやりやさしい言葉で話すことができる。(あいさつ)

元気いっぱいやりぬく子

- ・心と体をたくましくきたえる。
- ・命を大切にしておのびのびと活動する。
- ・食育の充実 食べることはやりきる力の源

校長として

- ・子どもの将来の夢が実現できる土台を6年間で作ることができる取組を進める。
- ・子どもにとってどうか、が取組の根本。
- ・学校の組織力を高める。
- ・学びの環境の充実。
- ・子どもにとって効果的な研究、研修のあり方を考える。
- ・教職員のやる気を引き出す。
- ・危機管理の徹底
- ・校種間連携の推進

教職員として

- ・言語生活に根差した言語活動の実践
- ・研究・F T研の活性化授業力の向上
- ・学級経営力の向上(生徒指導・学級経営部)
- ・規範意識の確立
- ・読書環境の充実
- ・道徳教育の推進
- ・外国語活動の系統的な指導内容の確立
- ・個の特性に合う支援
- ・通級教室、保健室との連携
- ・育成学級児童との交流
- ・HPで情報発信を。

家庭

- ・家庭の教育力の向上 豊かな言葉で声かけを
- ・家庭学習の確立 子どもの学習の足あとを見る。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」朝ごはんは必ず食べさせて登校する。
- ・あたたかい家庭は子どもの心のよりどころ 子どもの話に耳を傾ける。
- ・子どもの課題を学校と共有する。
- ・規範意識の土台は家庭のルールにある。
- ・子どもと共に育む京都市民憲章の認識。

地域

- ・羽東師地域を大事に思う子どもを育てる。
- ・学校を支える地域力の向上
- ・地域行事に参加し、地域とのつながりを持つ。
- ・地域ぐるみの安全対策
- ・学校教育活動の情報発信。
- ・学校運営協議会の活動推進。
- ・学校評価を学校経営に生かす。

有用な社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）を作る＝ネットワーク・絆・つながり

子どもにとって「行ってよかった」教職員にとって「勤めてよかった」保護者・地域にとって「通わせてよかった」と言える学校を作る＝学校評価を生かした継続的な見直しと改善